



「はじめての にほんご くらす」

令和3年 9月～11月

【概要】

開催日時：
令和3年
「ひらがな くらす」
9月26日(日) 10:30～
12:00

「にほんご くらす」
全6回 全て10:30～12:00

- ①10月10日(日)
- ②10月17日(日)
- ③10月24日(日)
- ④10月31日(日)
- ⑤11月7日(日)
- ⑥11月14日(日)

講師：
阿部 仁美 氏
(一社)北海道日本語セン
ター理事、北海道大学・札
幌市立大学非常勤講師
日本語ボランティアグル
ープ「J. WORKS」所属

主催
(公財)札幌国際プラザ

令和3年9月26日～11月14日、「はじめての にほんご くらす」を開催しました。これは、日本語を話すことが出来ない外国人を対象とした基礎日本語クラスです。

初回は9月26日に、平仮名が書けない人を対象とした「ひらがな くらす」を開催し、オンラインであっても、画面共有された動画にならって、平仮名を書く練習をしました。また、自分の名前と出身国名はカタカナで書けるようになりました。

10月10日からは6週連続で、基礎日本語教室を開きました。講師の阿部先生は、やさしい日本語で文法やフレーズを紹介して、画面越しに生徒と会話練習をしました。クラスの後半は、にほんごサポーターの日本人と一対一分かれ、会話練習を行いました。

にほんごサポーターは、昨年実施した「日本語学習支援者になるためのオンライン講座」を修了した12人が参加。会話練習では、前半の授業で習った表現、例えば「〇〇が好きです。」「××が有名です。」などのフレーズを使って、「札幌はスープカレーが有名です。私はスープカレーが好きです。」などが表現したいことを日本語で話している姿が見られました。さらに「レストラン、どこが美味しいですか。」など、自由に話題を広げながら、互いに会話を楽しんでいました。

最終回の11月14日は、オンラインとプラザでの対面授業の両方で実施しました。授業では「〇〇がしたい」というフレーズを習い、その後、にほんごサポーターと話しながらスピーチの準備をしました。授業の最後には、全員が「日本でしたいこと」をスピーチし、互いの発表を聞きました。

コロナ禍にあり、学ぶ機会が限られている中、日本語を学びたい外国人に学習の機会を提供できたことは、大変有意義であったと思われます。札幌国際プラザは、これからも、札幌市の多文化共生に向けた活動を続けてまいります。



オンライン授業の様子 10/17



授業の様子 11/14



サポーターとの会話練習の様子 11/14

参加者人数	9月26日	10月10日	10月17日	10月24日	10月31日	11月7日	11月14日
にほんごサポーター	-	11	12	9	11	11	12(9)
外国人学習者	10	12	11	7	8	9	9(5)

() 内
プラザ来館者

(公財)札幌国際プラザ 多文化交流部
〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNNビル3階
TEL 011-211-2105 FAX 011-232-3833
多文化交流部ホームページ https://plaza-sapporo.or.jp/citizen_j/